

【 1 】 新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額： 6 0 , 2 5 7 , 3 5 0 円
(事業収入：18,405,200 円、市負担金収入：41,852,150 円)
- 支出決算額： 5 9 , 3 4 2 , 1 5 0 円

2 事業の成果

- ◆ **受注促進・販路開拓支援事業**：新潟県内外からの引き合い案件に対して地域企業とのマッチングを行った。引合件数は前年比約 3%増加。機械要素技術展共同出展時の引合件数は、東京展と関西展ともに増加傾向にあった。
- ◆ **燕三条ものづくりメッセ開催事業**：地域内外のメーカーが一堂に会する展示会を開催した。出展企業の商談件数及び成約件数は前年を上回った。来場者並びに出展者へのアンケート結果では、来場者の目標達成度 69%、出展者の目標達成度 81%となり、双方の目的に沿った展示会となった。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業(担当：企業支援課)

(収入決算額：20,703,999 円、支出決算額：20,241,999 円)

① 地域企業訪問による受注促進

電話/FAX/WEB 経由した引合案件に対して地域企業を紹介するとともに、関東・関西圏の企業を中心に訪問して地域企業が有する加工技術の PR を行った。引合案件に対して最適な地域企業の紹介や技術担当からの提案、紹介後のフォローアップを行うなどして受注促進を図った。

年度	受 注 幹 旋(件)				引 合 件 数 小 計	各 種 相 談
	成 約	見 積 検 討 中	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
R 6	40	84	415	14	553	36
R 5	41	73	410	11	535	62
R 4	53	25	426	13	517	75

・ 引き合いの主な分野

	分 野	件 数	割 合
1	表面処理	84 件	13.0%
2	機械加工	80 件	12.4%
3	板金加工	64 件	9.9%

・ 成約の主な分野

	分 野	件 数	割 合
1	機械加工	9 件	22.5%
2	板金加工	6 件	15.0%
3	各種刃物/ 工業用刃物	4 件	14.6%

- ・ WEB 受発注システムへの企業照会

年度	部品加工分野	民生品分野
R 6	44 件	48 件
R 5	41 件	22 件

- ・ 受発注打合せ件数 (単位：件)

年度	地域内(市内) 企業訪問	地域外(県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
R 6	152	9	41	54	30
R 5	61	5	39	32	36
R 4	69	14	63	8	29

② 燕三条地域企業との技術系展示会への共同出展等による受注促進

東京展、関西展ともに来場者数、引合件数が増加。引合案件は、板金加工、工業用刃物、研磨が多い傾向にあった。

展示会名称(会場)	年 度	来場者数	共同出展 企業数	引合 件数	成約 件数
機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	R 6 (6/19～21)	69,717 人	22 社	236 件	12 件
	R 5	66,895 人	22 社	171 件	20 件
	R 4	49,262 人	18 社	148 件	7 件
関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	R 6 (10/2～4)	31,007 人	8 社	46 件	21 件
	R 5	31,627 人	8 社	15 件	9 件
	R 4	27,162 人	6 社	31 件	14 件

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計。

- ・ MOBIO 企画展(ものづくりビジネスセンター大阪)

会期：9/2～10/1

来場者数：1,460 人

③ スタートアップ×燕三条メーカー【新規】

燕三条ものづくりメッセ開催時に新潟県「ものづくり企業のスタートアップ連携チャレンジ事業」共催で開催。コーディネーターが出展者ブースを訪問して加工技術や製品についてヒアリングし、展示会の会期後に製造業系のスタートアップ/ベンチャー企業とのマッチングを図った。

後日面談：4 社

打合せ調整：7 社

④ 燕三条バーチャル技術展を活用した技術 PR リーフレットの製作

技術 PR リーフレットを製作して展示会出展時や企業訪問時などで配布し、加工技術の PR を行った。

⑤ ものづくり企業ナビの機能拡充

利用者の利便性向上を目的として、ものづくり企業ナビに対し ChatGPT を活用した検索機能の試験的導入を行い、テスト環境にて機能検証を実施した。自然言語による検索は概ね良好に機能し、一定の利便性向上が確認された。一方で、より精緻な検索結果を得るためには、登録情報や項目の拡充が検討課題となった。

⑥ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約 650 社を対象として、技術系展示会の出展募集や商談会参加募集などを FAX とメールで配信した。(リサーチコア通信：3 回)
- 2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等約 1,600 人へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。(新潟発！燕三条ものづくり情報：4 回)

(2) 燕三条ものづくりメッセ開催事業(担当：企業支援課)

(収入決算額：39,553,351 円、支出決算額：39,100,151 円)

製造業系のビジネスマッチングや技術交流を目的とした展示会には地域内外の企業 174 社が出展し、3,930 人が来場した。来場者数は目標数には届かなかったものの、商談件数および成約件数は前年を上回った。来場者ならびに出展者へのアンケート結果では、来場者の目標達成度 69%、出展者の目標達成度 81%となり、双方の目的に沿った展示会となった。

① 名 称：燕三条ものづくりメッセ 2024

② 会 期：令和 6 年 10 月 24 日(木)～25 日(金)

③ 会 場：燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール 他

④ 出展規模

・ 地域別

(単位：社・団体)

	R 6	R 5	R 4
燕三条地域	110	103	92
その他地域	64	73	88
合 計	174	176	180

・ 分野別

(単位：社・団体)

	R 6	R 5	R 4
加工技術	101	97	93
機械装置	9	24	29
民生品	21	14	13
ソリューション	26	25	33
教育・研究機関	8	8	8
産業支援機関	9	8	4

⑤ 来場者数 (単位：人)

	R 6	R 5	R 4
来場者数	3, 930	4, 356	3, 831

⑥ 展示会概要

- ・ 展示会での商談、ビジネスマッチング (単位：件)

	R 6	R 5	R 4
商談件数	1, 671	1, 443	1, 796
成約件数	31	18	31

- ・ 商談会/見学会

日 時：令和 6 年 10 月 24 日(木) 13:30～15:00

参加企業：発注側企業 9 社、受注側企業 23 社

商談件数：延べ 26 件

工場見学：2 件

- ・ 溶接・材料技術講演会

産学連携共同研究開発事業「第 1 回 ものづくりフォーラム」として実施

テーマ：溶接の評価技術と技能伝承

日 時：令和 6 年 10 月 25 日(金) 13:00～16:00

演 題：・ 材料と溶接接合部の分析からわかること

－ものづくりに役立つ分析解析調査技術－

コベルコ溶接テクノ(株) 技術開発室長 岡部 俊明 氏

- ・ 電位差法を用いたスポット溶接の非破壊評価法

電子磁気工業(株) 開発部開発課 課長 岩田 成弘 氏

- ・ DX を活用した溶接の技能伝承

(株)Creative Works 代表取締役社長 宮本 卓 氏

聴講者：44 人

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

- 収入決算額：9, 882, 427 円
(事業収入：2,717,506 円、市負担金収入：6,564,921 円、
その他補助金収入：600,000 円)
- 支出決算額：6, 124, 411 円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業**：小型で安価になったデジタルデバイスや、より使い勝手の増したクラウドサービスなどを製造の現場に取り入れるためのセミナーや研究会を開催し、生産性向上の手法を広めた。
- ◆ **技術開発総合支援事業**：地域企業から寄せられた製造上の不具合に関する相談、表面処理方法、材料物性などの相談に対して技術情報の提供や当センター機械設備を活用することによって課題解決に繋がった。

3 実施事業

(1) 企業開発力強化事業

(収入決算額：6,124,411 円、支出決算額：6,124,411 円)

① 産学連携技術支援事業（担当：技術開発課）

1) ものづくりフォーラム

大学などで研究が進んでいる燕三条地域に役立ちそうなトピックスを提供し、生産性向上および開発力向上のきっかけを提供した。

- ・ 期間(回数)：令和6年5月～令和6年10月(4回実施)
- ・ 参加者：延べ244人

	日時	テーマ	講師	人/社
1	5/23	「品質管理」の仕事で役立つ！ 計測の基礎セミナー	(一財)日本品質保証機構 計量計測センター カスタマーサービス部営業課 和賀 航平 氏	33/20
2	7/8	デジタル化時代の地域製造業の 勝ち筋	早稲田大学教授 藤本 隆宏 氏	29/21
3	9/4	無料で使えるオープンソース CAD/CAE の基本を学ぶ	新潟県工業技術総合研究所 下越技術支援センター 専門研究員 片山 聡 氏	10/10

4	10/25	材料と溶接接合部の分析からわかること -ものづくりに役立つ分析解析調査技術-	コベルコ溶接テクノ(株) 技術開発室長 岡部 俊明 氏	44/27
		電位差法を用いたスポット溶接の非破壊評価法	電子磁気工業(株) 開発部開発課 課長 岩田 成弘 氏	
		DX を活用した溶接の技能伝承	(株)Creative Works 代表取締役社長 宮本 卓 氏	

2) 産学連携研究会

ア 技能伝承研究会

効率的な技能伝承につなげるために、地域企業へ各種センサーを活用した技能伝承ツールの情報提供を行った。

- ・ 期間(回数)：令和6年7月～令和7年2月(4回実施)
- ・ 指導者：長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 村上 祐貴 氏
- ・ 参加者：9人(9社)

イ 生産性向上研究会

現状の把握と品質・工程の改善を生産性向上と位置付けて、品質管理と工程管理について情報提供を行った。

- ・ 期間(回数)：令和6年6月～令和7年3月(5回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 技学研究院 教授 磯部 浩巳 氏
- ・ 参加者：10人(7社)

ウ 感性評価研究会【新規】

製品の特長を色彩、素材、質感の3つに着目し、人の感性に与える影響の数値化を試みた。

- ・ 期間(回数)：令和6年10月～令和7年2月(3回実施)
- ・ 指導者：長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科
准教授 和久井 直樹 氏
- ・ 参加者：20人(9社)

② 技術開発総合支援事業(担当：技術開発課)

1) 機械設備・分析測定機器の利用促進

昨年度新しく導入した機械設備や分析測定機器を含め、地域企業の利用促進のために各種機器を紹介するオーダーメイド型の説明会を随時開催した。

【機械設備利用状況】

名 称	R 6	R 5	R 4
3D スキャナー	34	－	－
多関節型 3 次元デジタイザー	2	18	20
3 次元デジタイジング装置	7	16	22
3 次元デザイン CAD システム	40	39	40
3D プリンター	53	47	37
蛍光 X 線分析装置	27	40	31
3D 測定レーザー顕微鏡	9	23	14
デジタルマイクロスコープ	10	6	2
レーザーマーカ	19	21	17
雰囲気熱処理装置	5	－	－
汎用旋盤、包丁の切れ味試験機、 精密天秤など	21	47	21
合 計(件数)	227	257	204

2) 技術相談

燕三条地域を中心とした企業から寄せられた加工方法、腐食/変色/色むらなど素材表面での不具合、洗浄方法などの技術相談に対してセンター技術職員が機械設備等を活用しながら解決策や改善策を提案した。

- ・ 相談件数：64 件(55 社)

3) 知的財産権相談

弁理士による特許や実用新案、意匠などの知的所有権の個別相談会を月 1 回開催した。

- ・ 指導者：ジーベック国際特許事務所 所属弁理士
- ・ 相談件数：29 件(13 社) (R 5：28 件(15 社))
- ・ 出願に繋がったもの：5 件 (R 5：1 件)

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

- 収入決算額：37,741,606円
(事業収入：3,425,150円、市負担金収入：34,316,456円)
- 支出決算額：36,935,856円

2 事業の成果

- ◆ 次世代ブランド企業の創出を目指し、地域企業が経営にデザイン思考を導入するためのプログラムを実施。外部有識者らの集中個社支援で新規事業構想やロードマップの完成まで導いた。
- ◆ 地域企業との製品系展示会への共同出展や東京丸の内でのデザイン賞受賞製品の展示を通じて、燕三条製品のライフスタイルを発信し、ものづくり地域としての更なるブランド力向上を図った。
- ◆ 産業観光においては新体制の実行委員会が「燕三条 工場の祭典」を開催。県内外でのPR活動や参加事業所間の連携促進事業といった地域の魅力発信及び向上への取り組みを積極的に実施した結果、コロナ禍以降で最多の来場者、参加事業所数となった。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド強化・発信事業

(収入決算額：37,007,356円、支出決算額：36,935,856円)

① 企業ブランド強化事業

1) 次世代ブランド企業創出プロジェクト

ア デザイン経営プログラムへの参加に繋げるためのワークショップ開催

- ・ 実施日時：令和6年5月21日(火) 15:00～17:30
- ・ 実施内容：他者の視点を交えてアイデアを生み出すワークショップ
- ・ 参加者：16人(13社)

イ デザイン経営プログラムの実施

- ・ 実施期間：令和6年6月～8月
- ・ 実施内容：課題解決ワークショップ、知財・デザイン人材育成、経営者層への成果発表、ロードマップ作成 他
- ・ 参加企業：1社(メンバー5人)
- ・ 外部有識者：(株)ロフトワーク、弁理士、ブランディングデザイナー

2) トрендセミナーの開催【新規】

消費者の志向やライフスタイルなどを考察したトレンドブックをもとに、数年先の動向を紹介するセミナーを開催した。

- ・ 第1回 開催日時：令和6年7月30日(火) 参加企業：27人(22社)
- ・ 第2回 開催日時：令和7年1月29日(水) 参加企業：28人(23社)
- ・ 講師：(株)グローカルネット 川野 未夏 氏

3) 町工場 NOW ! 出展【新規】

加工業を主とした地域企業が基盤技術を駆使して開発した商品及びブランドをライフスタイル業界に発信し、販路開拓、商品受注に繋げた。

- ・ 会 期：令和6年9月4日(水)～6日(金)
- ・ 会 場：東京ビッグサイト 西展示棟「LIFE×DESIGN」ゾーン
- ・ 共同出展企業：5社
- ・ 来場者数：42,448人(ギフト・ショー全体：221,478人)

コンタクト数	商談件数	成約数
335 件	48 件	15 件

4) 企業プレゼンテーションスペースの提供

デザインギャラリーでの展示を通じて、自社製品の魅力発信と企画力の育成、企業のブランド力の醸成を支援した。

- ・ 会 場：リサーチコア 3階 デザインギャラリー
- ・ 展示企業：25社(R5：20社)

5) デザイン賞活用支援

ア GOOD DESIGN Award 2024 応募説明会、審査方法体験ワークショップ、相談会

- ・ 開催日時：令和6年4月25日(木) 14:00～17:00
- ・ 参加企業：説明会16人(10社)、ワークショップ12人(7社)、個別相談5社

イ iF DESIGN AWARD 2025 応募説明、特別講演

- ・ 開催日時：令和6年9月13日(金) 14:00～16:30
- ・ 参加企業：説明会10人(8社)、個別相談1社
- ・ 特別講演：「iF DESIGN AWARDの審査委員を務めて」

(株)インターオフィス 代表取締役 寺田 尚樹 氏

ウ Good Design Award 2024 燕三条

- ・ 内 容：2024年度受賞製品と「GOOD DESIGN STORE TOKYO」で購入可能な商品及び、過去3年内受賞製品からセレクトした製品の展示
- ・ 会 場：GOOD DESIGN Marunouchi(東京都)
- ・ 会 期：令和6年12月14日(土)～25日(水)
- ・ 展 示 数：80点

年度	R6	R5	R4
来場者数	9,991人	8,450人	10,627人

エ デザインギャラリーでの常設展示

- ・ GOOD DESIGN AWARD 2024 燕三条地域受賞商品 15点
- ・ ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2024 受賞製品 13点

6) 商品企画、デザインの相談対応や外部デザイナーとのマッチング

- ・ 1件(内容：デザインの導入、デザイナーとの協業方法について)

7) 地域団体の活動に対するサポート

- ・ 燕三条デザイン研究会：総会1回

② 地域ブランド発信事業

1) インテリアライフスタイル出展

デザイン、機能、品質が優れた燕三条製品のライフスタイルを発信し、ものづくり地域としての更なるブランド力向上を図った。

- ・ 会 期：令和6年6月12日(水)～14日(金)
- ・ 会 場：東京ビッグサイト 西展示棟「JAPAN STYLE」ゾーン

年度	来場者数	共同出展 企業数	コンタクト数	商談件数	成約数[見込数]
R 6	16,577 人	12 社	670 件	169 件	43 件[25 件]
R 5	18,634 人	14 社	589 件	176 件	17 件

2) オープンファクトリーイベント「燕三条 工場の祭典」の開催

燕商工会議所青年部と三条商工会議所青年部らで実行委員会を組織し、4つの分科会を設けて開催準備を進め、燕市、三条市、近隣市町村の109の事業所が参加した。

- ・ 内 容：燕三条地域の事業所が製造現場などを一斉に開放し、訪れた先でものづくりを見学・体験・購入できるイベントの開催
- ・ 会 期：令和6年10月3日(木)～6日(日) 4日間

年度	会期	来場者数	参加事業所数
R 6	4 日間	38,592 人	109 社
R 5	4 日間	29,773 人	87 社
R 4	3 日間	33,514 人	82 社

3) 観光ポータルサイト「燕三条 夢創紀行」の運営

- ・ 内 容：観光関連団体との連携によるイベント情報等を集約して発信した。

年度	イベント情報	アクティビティ情報
R 6	70 件	9 件
R 5	87 件	22 件
R 4	69 件	31 件

4) 「燕三条まちあるき」の運営支援

- ・ 内 容：コース主催団体の独自運営支援及び開催情報を発信した。

年度	実施コース数	参加延人数	備 考
R 6	9	40 人	中止 1 コース
R 5	11	62 人	中止 1 コース
R 4	29	133 人	中止 8 コース

【4】企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額：10,597,662円
(事業収入：4,166,960円、市負担金収入：6,430,702円)
- 支出決算額：10,455,781円

2 事業の成果

- ◆ **技術力強化支援事業**：企業の即戦力になれるように、新人向けの講座を春に多く開催した。また、地域企業に需要の高い技術系の講座を年間を通じて開催し、技術力向上に役立てていただいた。前年度の受講者アンケートを参考に内容の見直しを行った結果、受講生の理解度が向上した。
- ◆ **経営力強化支援事業**：地域企業の営業活動をより活発にすべく情報系および経営系の研修を開講した。自社の強みの再確認や売り込み先の整理、またそれらの情報をネット上に公開するための手法やページを彩るための写真撮影テクニックなどを学び、販売の強化に繋げていただいた。また、メルマガや広報誌、ホームページなどで、リサーチコアの実施事業を広報することで引き続きプレゼンスの向上に努めた。

3 実施事業

(1) 技術力強化支援事業(担当：技術開発課)

(収入決算額：2,879,200円、支出決算額：2,737,319円)

地域企業の技術力向上を目的として、金属に関する基礎的な講座からより深掘りした専門的な講座まで幅広く講座を開催した。

- ・ 全11コース、49回、146時間、募集180人/実績153人
(R5：全12コース、56回、172時間、募集190人/実績174人)
- ・ 理解度60%以上の受講者：68% / 満足度「良かった」以上の受講者：81%
(R5：理解度60%以上の受講者：62% / 満足度「良かった」以上の受講者：84%)

① 新人基礎コース(1コース)

(単位：人/社)

講座名	期間(時間数)	R6	R5	R4
図面の見方と金属材料・加工基礎講座	4/12～23(24時間)	20/26	20/30	21/28

② 技術基礎コース(5コース)

(単位：人/社)

講座名	期間(時間数)	R6	R5	R4
金属材料基礎講座	9/13～10/1(15時間)	18/14	14/13	17/14
図面の見方・描き方入門講座(第1期)	7/16～8/2(17時間)	20/12	19/15	20/12
図面の見方・描き方入門講座(第2期)	11/8～26(17時間)	8/7	25/21	19/18

製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	5/29～6/26(10時間)	8/6	11/7	9/7
3D-CAD 入門講座	8/30～9/9(15時間)	4/3	9/9	6/5
合 計		58/42	78/65	71/56

③ 専門分野集中研修コース(4コース) (単位：人/社)

講 座 名	期間(時間数)	R 6	R 5	R 4
溶接技術集中講座	10/3～4(9時間)	10/8	11/10	14/9
プレス加工集中講座	12/3～17(9時間)	21/16	15/13	19/14
表面処理技術集中講座	5/14～28(9時間)	13/11	9/6	20/14
熱処理技術集中講座	10/30～11/6(9時間)	16/14	7/5	11/10
合 計		60/49	42/34	64/47

④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース(1コース) (単位：人/社)

講 座 名	期間(時間数)	R 6	R 5	R 4
燕三条ものづくり現場改善基礎講座	8/27～10/8(12時間)	15/9	13/10	13/13

(2) 経営力強化支援事業(担当：技術開発課)

(収入決算額：7,718,462円、支出決算額：7,718,462円)

① 企業向け情報・経営研修会の開催

地域企業の事業運営やデジタル化の一助となるようセミナーを開催した。セミナーの受講者の80%以上の方々から受講して「良かった」と感じていただけるセミナーとなった。

- ・ 全7コース、23回、60時間、募集90人/実績67人

(R5：全8コース、27回、65時間、募集98人/実績92人)

- ・ 理解度60%以上の受講者：70% / 満足度「良かった」以上の受講者：82%

(R5：理解度60%以上の受講者：78% / 満足度「良かった」以上の受講者：89%)

〈情報系〉(4コース)

(単位：人/社)

講 座 名	期間(時間数)	R 6	R 5	R 4
エクセル活用講座(仕事の効率を上げるExcel活用講座)	5/9～23(10時間)	10/6	15/11	13/11
広報・広告のための撮影講座	12/10～17(12時間)	8/8	9/8	7/7
WordPress 入門講座	11/7～20(8時間)	9/8	6/6	3/3
デジタルツール活用ワークショップ	8/28～29(12時間)	12/8	9/6	11/8
合 計		39/30	39/31	34/29

〈経営系〉（3 コース）

（単位：人/社）

講 座 名	期間(時間数)	R 6	R 5	R 4
中堅・若手社員のコスト意識の育成講座	4/10～24(6 時間)	14/9	26/17	23/14
営業力強化セミナー	4/10～24(6 時間)	8/8	12/8	7/7
事務職のための業務改善研修	6/7～21(6 時間)	6/5	12/12	13/12
合 計		28/22	50/37	43/33

② 経営力強化のための個別相談事業

利用実績 2 件(1 社)

③ センター事業の広報活動

1) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年 2 回)

2) ビジネス情報の提供

メールマガジンの発行

- ・ 毎月 1 回(年間 12 回)配信
- ・ 掲載情報件数：94 件
- ・ 3 月末メルマガ配信登録者数：542 件

④ 地場産センターホームページ、フリースポットの管理・運営

地場産センターホームページを随時更新した。また館内のフリースポットの安定稼働に努めた。

- ・ センターホームページの月平均閲覧数：29,513 件/月(R 5：32,391 件/月)

⑤ 情報関連機器の維持管理、情報研修室の利用促進

館内通信ネットワークを安定的に運用するため、各種サーバーや通信環境のメンテナンス、データのバックアップ、グループウェアの導入を行った。

- ・ 情報研修室 OA 機器、研修用 DVD 等の貸出 (※R 5 年度)

貸出機器名	貸出件数	備 考
パソコン・プロジェクター	19 件 (19 件)	情報研修室内の貸出用 PC 他
研修用 DVD 等	2 本 (22 本)	

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

- 収入決算額：36,027,843 円
(事業収入：6,261,730 円、市負担金収入：29,766,113 円)
- 支出決算額：36,027,843 円

2 事業の成果

- ◆ アメリカ、ドイツの展示会に企業と共同出展し、バイヤーとの商談を行った。また、ニューヨークでは販売促進イベントを行ない、店舗での継続販売に繋げた。
- ◆ インバウンド誘客では米国での展示会・イベントと併せた地域PRや、シンガポールにて富裕層向けツアーのイベントを開催した。また、台湾でも燕三条地域のPRを行い来訪への誘客活動を行った。
- ◆ セミナーでは、企業の関心が高いと思われる地域のセミナーによる情報提供と、貿易実務等の講座を開催し、企業内人材のスキルアップに寄与した。
上記に関連する海外事業全般に対し、JETRO新潟と連携しワンストップ窓口を開設して対応した。

3 実施事業

(1) 海外販路支援事業

(収入決算額：36,027,843 円、支出決算額：36,027,843 円)

① 燕三条製品の海外販路開拓支援

1) ASEAN 現地バイヤー企業マッチング【新規】

3ヶ国のバイヤーを招聘し、マッチングを希望した地域企業を訪問して商談を行った。

- ・ 実施時期：令和6年7月16日(火)～24日(水)、10月16日(水)～17日(木)
- ・ 招聘バイヤー：マレーシア、タイ、ベトナム 3か国、4社
- ・ 参加企業数：17社(成約数：3件、成約見込み：16件)

2) SHOPPE OBJECT 2024 出展

- ・ 会場：Skylight at Essex Crossing(198 Broome Street, New York, NY 10002)

会 期	共同出展 企業数	コンタクト数	成約数[見込数]
R6(リアル展)8/4～6 (オンライン展)7/15～R7/1/14	5社	181件	45件[48件]
R5(リアル展)8/13～15 (オンライン展)7/15～R6/1/15	8社	352件	62件
R4(リアル展)8/14～16 (オンライン展)8/1～R5/1/31	8社	496件	159件

3) JAPAN VILLAGE での販売促進イベント開催(新潟県連携)

- ・ 名 称 : NIIGATA Fair in NY
- ・ 会 場 : JAPAN VILLAGE (934 3rd Avenue Brooklyn , NY11232)

会 期	参加企業数	来場者数	販売点数
R 6 10/26～27	6 社	5,500 人	104 アイテム
R 5 8/19～20	7 社/ 1 団体	4,500 人	206 アイテム

4) UAE 市場調査ミッション(JETRO 連携)【新規】

現地商工会議所との情報交換会や小売店、消費財見本市の視察を行い、燕三条製品の販路開拓・拡大の可能性について、調査報告会を開催した。

- ・ 実施都市 : ドバイ (アラブ首長国連邦)
- ・ 実施日程 : 令和 6 年 11 月 10 日 (日)～15 日 (金)
- ・ 参加団体数 : 7 団体
- ・ 報告会 : 令和 6 年 12 月 25 日 (水) 聴講者 : 29 人

5) アンビエンテ 2025 出展(ドイツ・フランクフルト)

- ・ 会 場 : フランクフルト国際見本市会場

(Ludwig Erhard Anlage1 60327 Frankfurt am Main, Germany)

会 期	共同出展 企業数	来場者数	コンタクト数	成約数[見込数]
R 6 R 7 / 2 / 7～11	12 社	147,684 人	345 件	14 件[75 件]
R 5 R 6 / 1 / 26～30	15 社	136,482 人	378 件	72 件
R 4 R 5 / 2 / 3～7	17 社	154,050 人	341 件	114 件

6) 米国サンフランシスコ食イベント” TABEMASHO” 招聘

JCCCNC より招聘を受け参加。主催者からの要請で 1 社が現地で講演と実演を行った。

- ・ 会 期 : 令和 6 年 9 月 21 日 (土)
- ・ 会 場 : JCCCNC (北カリフォルニア州日本文化コミュニティセンター)
(1840 Sutter St, San Francisco, California 94115)
- ・ 参加企業数 : 4 社 (販売点数 : 200 点)

② インバウンド事業の実施

1) 新潟県および政府機関と連携した地域プロモーション

JAPAN VILLAGE で開催された NIIGATA Fair in NY にて地域プロモーションを実施したほか、ニューヨークの旅行会社 2 社を訪問し PR を行った。

2) 新潟県内の近隣自治体と連携した東南アジア現地セールス

富裕層を顧客とするシンガポールの旅行会社を招聘して立ち寄り候補地のツアーを実施した。招聘後に造成された旅行商品の VIP 向け説明会にて、燕三条地域の観光プレゼンテーションを実施した。

ア 旅行会社招聘

- ・ 実施日：令和6年7月16日(火)～19日(金)
- ・ 立寄り先：燕三条地域15件(その他近隣市町村4件)

イ シンガポールでの旅行商品説明会の開催

- ・ 開催日：令和6年8月31日(土)
- ・ 会場：Sheraton Towers Singapore
- ・ 来場者：42人
- ・ 造成商品：令和7年4月7日(月)～17日(木)催行 燕三条地域立寄り4件

3) インバウンド向けのメディア及び視察の受け入れ

受入れ件数：17件

4) SNSによる燕三条地域の情報発信

ア インスタグラムによる情報配信

「Discover TSUBAMESANJO」アカウントで継続的に地域の情報を発信した。

年度	投稿数	閲覧数	投稿反応数	登録者数
R6	378件	75,495回	5,683件	4,675人
R5	161件	81,540回	6,111件	2,226人

イ JNTO(日本政府観光局)を通じた情報発信

世界各国のJNTO事業所の媒体を通じてインバウンド向け情報の発信を行った。

Facebook：ドバイ、フィリピン Instagram：ドバイ、ドイツ

JNTO ニュースレター：中国

年 度	R6	R5	R4
掲載数	6件	6件	8件

5) 之間-看見 IN Between Visions-2025 燕三条交流展(燕三条貿易振興会連携)

台湾での企画展にて地域プロモーションを行った。

- ・ 会 期：令和7年3月13日(木)～16日(日)
- ・ 会 場：松山文創園區(台北市信義區光復南路133號)
- ・ 来場者数：9,314人

(Instagram登録者数2,100人増加)

③ 海外展開に関する相談対応

ワンストップ窓口としてJETRO等と連携し、地域内企業、海外からの相談に対応した。

年 度	R6	R5	R4
相談件数	138件(77社)	127件(64社)	101件(56社)

④ 海外展開に関するセミナー（新潟県・JETRO 連携）

年 度	R 6	R 5	R 4
開 催 数	19件	4 件	4 件
参加者数	480人(434社)	97人(90社)	51人(43社)

内訳：

	開催	セミナー名	人/社
1	5 月	貿易実務講座 基礎編 ～はじめての貿易実務①～	36/30
2		貿易実務講座 基礎編 ～はじめての貿易実務②～	45/35
3		貿易実務講座 基礎編 ～はじめての貿易実務③～	37/30
4		海外市場開拓に向けた戦略的ブランディング	26/20
5	6 月	海外展開マーケティング講座	23/19
6		海外市場セミナー ～オーストラリアの食品市場～	10/10
7		東南アジア市場セミナー ～タイ編～	20/20
8		東南アジア市場セミナー ～フィリピン編～	13/13
9	7 月	海外市場セミナー ～米国食品市場の開拓～	27/22
10		貿易実務講座 商談準備編	32/30
11	8 月	貿易実務講座 中級編 ～EPA/FTA はこう活用する～	25/22
12		貿易実務講座 中級編 ～仲介貿易(三国間貿易)の実務～	18/17
13	9 月	海外渡航を伴わない海外展開「越境 EC 講座」①	31/31
14		海外渡航を伴わない海外展開「越境 EC 講座」②	30/30
15		海外渡航を伴わない海外展開「越境 EC 講座」③	25/25
16	10 月	海外人材養成講座 ―海外販売代理店にやる気を出してもらうには―	28/28
17	11 月	マレーシアの概況および食品を中心とした消費市場について	11/11
18	11 月	海外人材養成講座 ―輸出取引におけるトラブル事例と対処法および与信管理演習―	27/25
19	12 月	カンボジアの経済概況	16/16

⑤ 海外展開に関する情報提供

地域企業向けメールマガジン「万里一空」による情報発信を行った。

年 度	R 6	R 5	R 4
配信回数	15回	18回	17回
登録者数	189人	168人	154人

【6】需要開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額：592,326,159円
- 支出決算額：447,194,115円

2 事業の成果

- ◆ **展示・即売事業**：地場産業に関連する実演や体験などを含んだ各種イベントを定期的に開催し、「ものづくりのまち燕三条」を代表する店舗の運営に努めた。地域企業の商品モニターの場としても活用する一方、体験型企画を旅行会社等に提案してきた結果、訪日外国人旅行者を含め多くの来場をいただくことができた。
- ◆ **燕三条駅観光物産センター事業**：燕三条の玄関口として相応しい店舗運営に努める中、店内を視覚的に演出し駅利用客の来館促進を図った結果、来館者数と売上げともに過去最高の実績となり、燕三条製品を効果的にPRすることができた。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額：507,066,418円、支出決算額：373,269,681円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R6	493,188,149円	6,504,815円	6,872,450円	506,565,414円
R5	501,363,754円	11,090,582円	6,717,414円	519,171,750円
R4	389,153,160円	8,930,305円	6,880,999円	404,964,464円

② イベント等の実績

イベント名	開催期間			来場者数
GWフェア	R6	4/27～5/6	10日間	約22,309人
	R5	4/29～5/7	9日間	約22,840人
	R4	4/29～5/8	10日間	約20,647人
お盆フェア	R6	8/10～18	9日間	約20,925人
	R5	8/11～16	6日間	約17,832人
	R4	8/11～16	6日間	約12,145人

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	免税件数	免税購入金額
R 6	281, 131 人	3, 911 人	1, 947 件	43, 806, 693 円
R 5	302, 518 人	3, 173 人	1, 473 件	31, 957, 481 円
R 4	254, 659 人	1, 072 人	341 件	8, 760, 382 円

④ その他実績

年度	観光バス来館	レンタサイクル利用
R 6	589 台	509 人
R 5	567 台	454 人
R 4	395 台	317 人

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額：85, 259, 741 円、支出決算額：73, 924, 434 円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R 6	82, 487, 713 円	43, 960 円	2, 683, 722 円	85, 215, 395 円
R 5	72, 596, 235 円	110, 905 円	2, 679, 967 円	75, 387, 107 円
R 4	61, 801, 570 円	173, 140 円	2, 454, 160 円	64, 428, 870 円

② イベント等の実績

イベント名	開催期間			来場者数
GWフェア	R 6	5 / 3 ～ 6	4 日間	約 1, 461 人
	R 5	5 / 3 ～ 7	5 日間	約 1, 911 人
	R 4	4 / 29 ～ 5 / 5	7 日間	約 2, 456 人
お盆フェア	R 6	8 / 12 ～ 15	4 日間	約 2, 747 人
	R 5	8 / 12 ～ 15	4 日間	約 2, 239 人
	R 4	8 / 13 ～ 16	4 日間	約 737 人

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	免税件数	免税購入金額
R 6	91, 509 人	1, 343 人	624 件	10, 677, 102 円
R 5	68, 859 人	1, 407 人	597 件	10, 437, 561 円
R 4	48, 583 人	393 人	176 件	3, 962, 847 円

【 7 】 収益事業

1 収支決算額

- 収入決算額： 1 1 7, 3 0 7, 3 8 6 円
- 支出決算額： 7 0, 1 9 1, 8 0 5 円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業**：他道の駅や関連する団体と連携したイベントの開催や、来館者ニーズの高い特色ある他地域商品の販売を通じ、観光施設の魅力度を上げ来館促進を図り、燕三条製品の効果的なPRを行った。
- ◆ **貸館事業**：多目的大ホールなど施設の大規模な修繕や備品等の更新により、利用者環境の整備に取り組む一方、貸館システムの浸透を図ることで、オンラインの利用率を上げ業務の効率化に努めた。
- ◆ **レストラン運営事業**：大規模な催事の開催情報等をレストランと共有し、運営のサポートを行うとともに、会議用の弁当や飲料を手配し、貸会議室利用者に対するサービスの向上に努めた。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額：48,384,968 円、支出決算額：33,858,718 円)

年度	地域外取扱商品販売金額		
	物産館	燕三条 Wing	合 計
R 6	30,796,555 円	17,455,213 円	48,251,768 円
R 5	28,594,872 円	8,868,316 円	37,463,188 円
R 4	22,412,883 円	7,664,148 円	30,077,031 円

(2) 貸館事業

(収入決算額：52,331,084 円、支出決算額：27,568,541 円)

【会場利用状況】

施 設 名	R 6		R 5		R 4	
	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数
メッセピア計	35,393,699	85,892	43,033,641	95,326	49,219,871	79,721
1F：多目的大ホール	18,050,691	21,424	22,920,282	16,800	28,836,370	17,830
3F：中会議室	1,642,575	5,948	2,024,687	10,107	1,821,500	7,734
4F：大会議室	4,967,599	10,565	6,073,787	16,977	6,387,894	13,958
特別会議室	430,375	656	769,450	325	656,273	415
小会議室	722,424	5,085	783,887	5,262	898,545	6,212

5F：総合研修室	8,253,711	33,416	8,968,023	38,198	9,410,746	28,866
ミーティングルーム	1,326,324	8,798	1,493,525	7,657	1,208,543	4,706
リサーチコア計	16,553,485	78,383	18,457,035	76,822	19,617,603	76,645
6F：研修室	9,482,823	64,413	10,993,536	59,936	11,087,179	58,104
7F：マルチメディアホール	7,070,662	13,970	7,463,499	16,886	8,530,424	18,541
合 計	51,947,184	164,275	61,490,676	172,148	68,837,474	156,366

(3) レストラン運営事業

(収入決算額：16,591,334 円、支出決算額：8,764,546 円)

燕三条 Bit 実績

【売上実績】

年度	売上金額	時間帯	内 訳	割 合	営業手数料
R 6	195,022,079 円	ランチ	102,181,549 円	52.4%	6,625,551 円
		ディナー	92,840,530 円	47.6%	
R 5	194,024,652 円	ランチ	84,812,560 円	43.7%	6,600,616 円
		ディナー	109,212,092 円	56.3%	
R 4	172,943,546 円	ランチ	77,284,755 円	44.7%	6,073,588 円
		ディナー	95,658,791 円	55.3%	

【来客実績】

年度	客 数	時間帯	内 訳	割 合	客単価
R 6	42,979 人	ランチ	29,982 人	69.8%	3,408 円
		ディナー	12,997 人	30.2%	7,143 円
R 5	44,240 人	ランチ	25,674 人	58.0%	3,303 円
		ディナー	18,566 人	42.0%	5,882 円
R 4	42,047 人	ランチ	29,137 人	69.3%	2,652 円
		ディナー	12,910 人	30.7%	7,410 円

附 属 明 細 書

令和6年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。